

2025 DISCLOSURE

The first half of the year

2025年度上半期 業績のご報告

チャレンジスペース・ゆきしん亭

「つむぎ通り」とつながる拠点 大きな『夢』の小さな一歩
「チャレンジスペース・ゆきしん亭」オープン!



幸せのYuki-Shin

ゆきぐに信用組合

理事長 あいさつ

幸せのYuki-Shin

ゆきぐに信用組合

理事長 小野澤 一成
Onozawa Kazunari



信金信組の検査が金融庁主導へと従来の財務局から集約されることになり2026事務年度（2026年7月～）から、新たな検査体制を本格的に稼働させると発表がありました。

これまでは金融庁の協同組織金融室が監督を束ね実際の検査監督は各地の財務局が担ってきました。（新潟県は関東財務局の管轄です）

信金や信組の不祥事が相次ぎ、経営不祥事の「いわき信組」「苫小牧信金」は5月に業務改善命令を受け、財務リスクでは「栃木信金」が保有する国債の含み損が必要な自己資本額を上回ったことで信金中金から資本支援を受けます。

今後は金融庁が検査を主導し、具体的には不動産融資や保有有価証券の含み損益の状況に関するデータを一括で整備し、監査体制などの経営上の課題なども横断的に調べ、どのような点を重点的に検査すべきかを洗い出し、その上で特に注意が必要な信金や信組は、より深く見るポイントを財務局に伝え、深度ある検査が実施されます。

金融庁主導で情報を集め、不祥事や財務リスクの早期発見につなげる狙いがあります。

8月8日(金)に新潟県庁において、花角新潟県知事と県内信金・信組の理事長との懇談会が開催されました。

信金9信組8の計17人の理事長が出席し、地域経済環境について代表の理事長8人が発表しました。

当組合からは、地域の特性に応じた独自の取組として、毎年11月に実施している「独自の景況感調査」、5月に実施した「コメに関する実態調査」、7月に開催した「地域同期会」について、発表しました。

花角知事からは「地域同期会」について、その成果はどうかと聞かれ、参加企業の「途中離職防止」「若者同士のネットワークづくり」そして企業の採用に対して、若者同士が勧誘する「リファラル採用」いわゆる、社員の知人友人を社員自身が推薦することで採用につなげるというものが実現していると報告しました。次回の開催については参加する若者の意見を反映し、若者同士のネットワーク化が図れるものにしていきます。

2025年度上半期は予定した事業計画すべてに満足のいく成果効果が表れました。職員の頑張りに心から感謝いたします。

以 上





(自：2025年4月1日～至：2025年9月30日)

事業の概況

当組合の新入職員の「入組式」は、4月29日(祝)の「職員大会」に行います。当日は保護者同席のもとで、今まで育てていただいた恩に対して「感謝の言葉」を述べて花束を贈ります。感動で涙を浮かべる親御さんがほとんどです。当日は、春の「職員大会」として職員全員が一堂に会した中で、「新入職員」は全員から祝福される形で一気に全店の職員と対面することになります。毎年、新しい“風”を運び込んでくれる“新人”の存在は、ありがたいです。

4月12日は「事件撲滅の日」として、15年前の職員不祥事件（預金の流用と着服）を忘れないために毎年、全役職員が事件を二度と起こさないために「誓約書」を作成して提出しています。

4月21日(月)は、全店の営業職員と「営業車」が集合して車両の総点検を行い、無事故を約束しました。地元警察署の交通課長から交通安全を学び、損保会社の担当より事故を起こした際の対応を学びました。昨年からの地域連携の一環として「地域安全見守り隊」の機能が追加されています。

5月の「総代地区会議」では同様に決算のご承認と事業計画と予算のご承認をいただきました。

6月2日(月)には当組合の「高橋常務」が専務理事に昇任となりました。

6月24日(火)の「通常総代会」では、理事の改選はじめ重要な議案が用意され、当日は長年当組合に貢献された理事への「理事退任式」並びに「総代全体懇親会」（72周年）も同時に開催されました。

7月4日(金)に「地域同期会・第4回」が若者66名（31社）の参加で開催され、若者同士のネットワークづくり交流の場として大盛況でした。

当組合の取組が注目され、7月と8月と9月にそれぞれ「ゆきしん実践型研修」として開催し、全国から「12」の信用組合と「3」の関係団体の代表者が参加しました。注目されている取組は、「貸出F5」（1日の中で職員が事業先10先を訪問、10人で計100先を訪問する）というものです。7月から8月にかけて5週連続で実施し、全店で500先の訪問で500先の面談という実績でした。完全にアポ取りをする訪問が注目されています。

7月21日(月)に地域と一体となった「防災訓練」「救命救急訓練」「消火訓練」を実施しました。当組合には停電時の「非常電源装置」が全部店に完備されており、いざという時には、地域の避難所として機能するべく、毎年地域と一体となった「防災訓練」を実施しております。

8月8日(金)に新潟県庁において、花角新潟県知事と県内信金・信組の理事長との懇談会が開催されました。信金9信組8の計17人の理事長が出席し、地域経済環境について代表の理事長8人が発表しました。当組合からは地域の特性に応じた独自の取組として、毎年11月に実施している「独自の景況感調査」、5月に実施した「コメに関する実態調査」、7月に開催した「地域同期会」について発表しました。

8月17日(日)「信組ゆきぐに奨学金」で支援する高校生を対象に「思い出づくり日帰りバスツアー」を実施、奨学生とその家族が参加し、フォトコンテストも実施、親子で夏休み中の大切な思い出づくりができました。

8月21日(木)「地元企業見学ツアー」が、ゆきぐにの未来基金の奨学生とその卒業生を加えて、将来の職業選択の視野を広げることを目的に実施しました。

8月27日から29日まで「京都産業大学」の学生3名が参加した「インターンシップ」を開催しました。

9月2日(火)には「くみの日週間」の取組として地元警察署と地域住民と一体となって「防犯訓練」「特殊詐欺防止訓練」を実施しました。

思わぬ「凶悪犯罪」が白昼堂々で行われる昨今、職員とお客様の「身の安全」が何よりも優先することを全員で確認しました。

9月8日と9日に「新潟青陵大学」の学生23人と先生3人の計26人を「コミュニティビジネス実習」として受け入れました。

9月25日(大安)にゆきぐに信用組合の「ゆきしん亭」完成「落成式」を施工業者と地域住民、報道関係の皆様からお集まりいただき盛大に挙行いたしました。26日は理事監事の皆様、信栄会長と総代の代表者の皆様からお集まりいただき「オープニングセレモニー」を実施し、27日はゆきしん職員への「内覧会」として実施しました。

報道からは新聞紙面「新潟日報」「読売新聞」「ニッキン」「雪国新聞」「妻有新聞」にて、また10月18日にはTV放送も行われ「ゆきしん亭」の注目度は高まっています。主に「テストマーケティング」として会場を使用したいというお声が多く寄せられています。今後、地元で起業を考えている若者が育ってくれることを願っています。

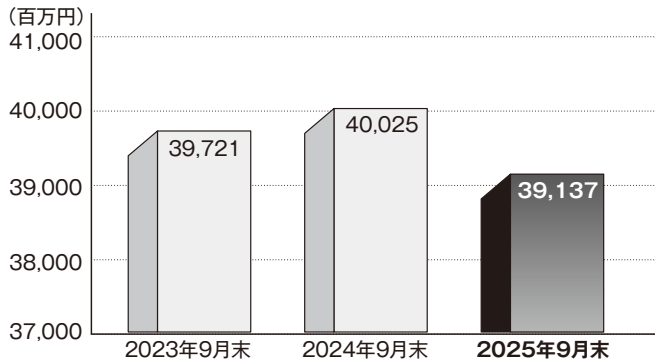
私ども「ゆきしん」は、地元事業者から信頼され頼られる存在となるために地元に密着した取組を更に継続してまいります。引続きのご支援を賜りますことをお願い申し上げます、半期の『事業報告』とさせていただきます。

以 上

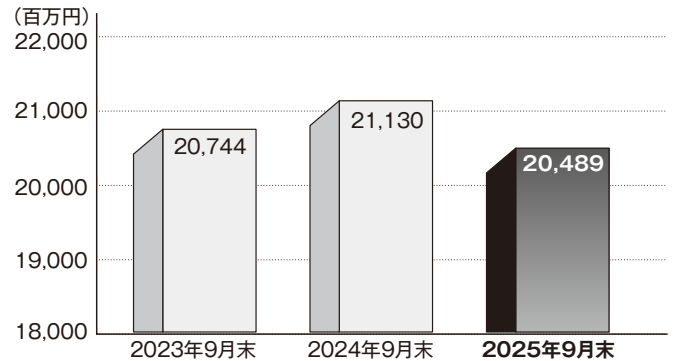
2025年度「半期決算」の報告

主要勘定の推移

預積金残高

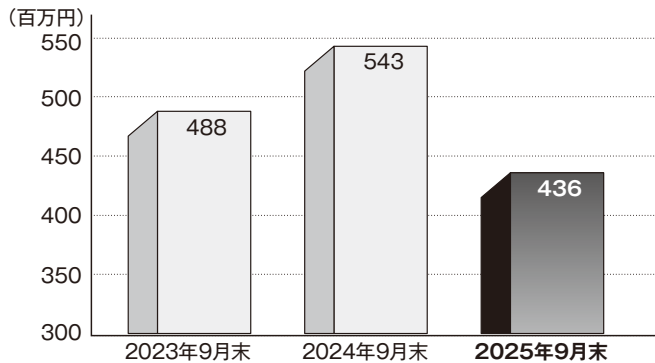


貸出金残高

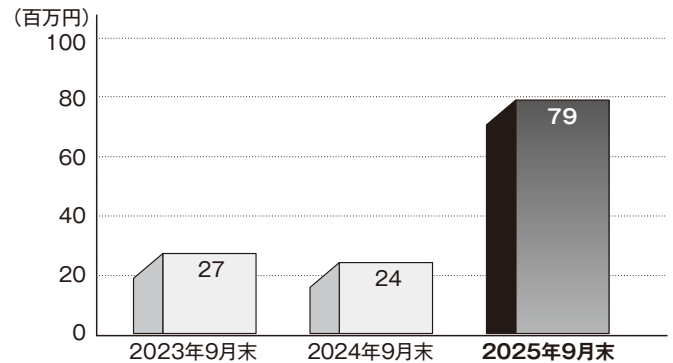


収益等の推移

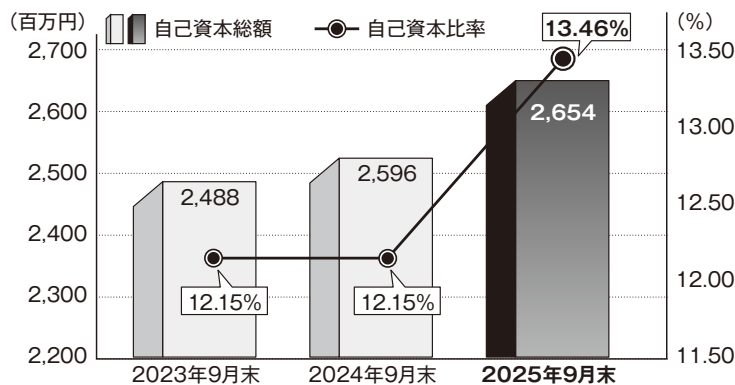
経常収益



当期純利益



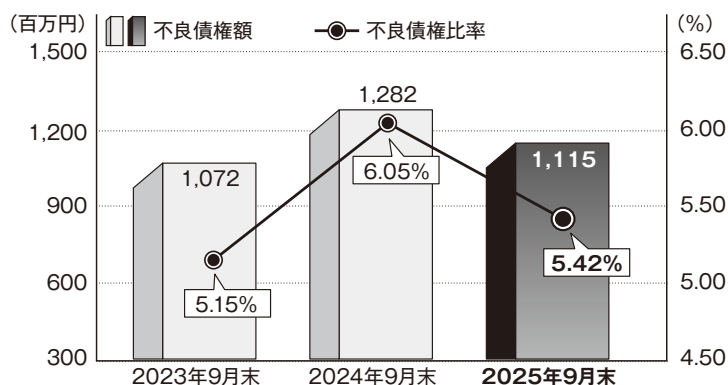
自己資本比率・自己資本額の推移



毎期着実に利益計上しており、自己資本の額は順調に積み増しされております。自己資本比率は、国内のみで業務を行う金融機関は4%以上の水準が求められておりますが、当組合は国際統一基準である8%を大幅に超えており、高い健全性が確保されております。

※ 2025年3月期末より、バーゼルⅢ新基準による自己資本比率の算定を行っております。

不良債権比率・不良債権額の推移



前期に発生した不良債権処理を進めたため、不良債権額・不良債権比率はともに減少しております。2025年度下期の重点課題として、事業改善支援を進めてきており、既存融資先の業況悪化防止に全力で取り組んでおります。

今後も、融資先の業況を確認しながら先手先行で対策を講じ、既存融資先の事業改善に向けて取り組んでまいります。

(自：2025年4月1日～至：2025年9月30日)

資産の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2024年9月	(B) 今期予算 2025年9月	(C) 今期実績 2025年9月	予算対比 〔(C) － (B)〕	実績対比 〔(C) － (A)〕
(資 産 の 部)					
現 金	447	450	387	▲ 63	▲ 60
預 け 金	14,858	15,687	14,996	▲ 691	138
有 価 証 券	5,944	5,742	5,623	▲ 119	▲ 321
貸 出 金	21,130	21,143	20,489	▲ 654	▲ 641
そ の 他 資 産	315	314	319	5	4
有 形 固 定 資 産	447	421	457	36	10
無 形 固 定 資 産	3	7	7	0	4
繰 延 税 金 資 産	16	15	15	0	▲ 1
債 務 保 証 見 返	61	53	61	8	0
貸 倒 引 当 金	▲ 802	▲ 616	▲ 631	▲ 15	171
資産の部合計	42,422	43,216	41,726	▲ 1,490	▲ 696

負債の部ならびに純資産の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2024年9月	(B) 今期予算 2025年9月	(C) 今期実績 2025年9月	予算対比 〔(C) － (B)〕	実績対比 〔(C) － (A)〕
(負 債 の 部)					
預 金 積 金	40,025	40,879	39,137	▲ 1,742	▲ 888
借 用 金	0	0	0	0	0
そ の 他 負 債	81	132	107	▲ 25	26
各 種 引 当 金	96	108	96	▲ 12	0
繰 延 税 金 負 債	0	0	0	0	0
債 務 保 証	61	53	61	8	0
負債の部合計	40,265	41,172	39,403	▲ 1,769	▲ 862
(純 資 産 の 部)					
出 資 金	393	383	385	2	▲ 8
利 益 剰 余 金	2,080	2,097	2,161	64	81
利 益 準 備 金	391	383	383	0	▲ 8
そ の 他 利 益 剰 余 金	1,688	1,714	1,777	63	89
当 期 未 処 分 剰 余 金	172	171	232	61	60
その他有価証券評価差額金	▲ 317	▲ 436	▲ 222	214	95
純資産の部合計	2,156	2,044	2,323	279	167
負債及び純資産の部合計	42,422	43,216	41,726	▲ 1,490	▲ 696

損益の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2024年9月	(B) 今期予算 2025年9月	(C) 今期実績 2025年9月	予算対比 〔(C) — (B)〕	実績対比 〔(C) — (A)〕
経 常 収 益	543	342	436	94	▲ 107
資 金 運 用 収 益	311	325	419	94	108
貸 出 金 利 息	229	236	236	0	7
預 け 金 利 息	13	32	32	0	19
有 価 証 券 利 息 配 当 金	60	51	146	95	86
そ の 他 の 受 入 利 息	7	5	4	▲ 1	▲ 3
役 務 取 引 等 収 益	14	14	15	1	1
そ の 他 業 務 収 益	97	1	1	0	▲ 96
国 債 等 債 券 売 却 益	95	0	0	0	▲ 95
そ の 他 の 業 務 収 益	1	1	1	0	0
そ の 他 経 常 収 益	119	0	0	0	▲ 119
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	0	0	0	0	0
株 式 等 売 却 益	119	0	0	0	▲ 119
そ の 他 の 経 常 収 益	0	0	0	0	0
経 常 費 用	503	312	319	7	▲ 184
資 金 調 達 費 用	8	34	33	▲ 1	25
預 積 金 利 息	8	34	33	▲ 1	25
借 用 金 利 息	0	0	0	0	0
そ の 他 の 支 払 利 息	0	0	0	0	0
役 務 取 引 等 費 用	10	10	10	0	0
そ の 他 業 務 費 用	24	0	1	1	▲ 23
国 債 等 債 券 売 却 損	24	0	0	0	▲ 24
国 債 等 債 券 償 還 損	0	0	1	1	1
そ の 他 の 業 務 費 用	0	0	0	0	0
経 費	247	255	249	▲ 6	2
人 件 費	144	142	138	▲ 4	▲ 6
物 件 費	99	109	106	▲ 3	7
税 金	3	4	4	0	1
そ の 他 経 常 費 用	212	11	25	14	▲ 187
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	210	11	25	14	▲ 185
貸 出 金 償 却	0	0	0	0	0
そ の 他 の 経 常 費 用	1	0	0	0	▲ 1
経 常 利 益	39	29	116	87	77
特 別 利 益	0	0	0	0	0
固 定 資 産 処 分 益	0	0	0	0	0
そ の 他 の 特 別 利 益	0	0	0	0	0
特 別 損 失	0	0	0	0	0
固 定 資 産 処 分 損	0	0	0	0	0
そ の 他 の 特 別 損 失	0	0	0	0	0
税 引 前 当 期 純 利 益	39	29	116	87	77
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	15	12	36	24	21
法 人 税 等 調 整 額	0	0	0	0	0
当 期 純 利 益	24	17	79	62	55
前 期 繰 越 金	148	153	153	0	5
当 期 未 処 分 剰 余 金	172	171	232	61	60

(自：2025 年 4 月 1 日～至：2026 年 3 月 31 日)

資産の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2025 年 3 月	(B) 今期予算 2026 年 3 月	(C) 今期見込 2026 年 3 月	予算対比 〔(C) － (B)〕	実績対比 〔(C) － (A)〕
(資 産 の 部)					
現 金	450	450	450	0	0
預 け 金	13,812	12,968	14,716	1,748	904
有 価 証 券	5,742	6,572	5,623	▲ 949	▲ 119
貸 出 金	20,555	21,055	20,086	▲ 969	▲ 469
そ の 他 資 産	320	316	319	3	▲ 1
有 形 固 定 資 産	436	452	463	11	27
無 形 固 定 資 産	7	6	7	1	0
繰 延 税 金 資 産	15	15	15	0	0
債 務 保 証 見 返	56	56	61	5	5
貸 倒 引 当 金	▲ 605	▲ 617	▲ 663	▲ 46	▲ 58
資産の部合計	40,792	41,273	41,077	▲ 196	285

負債の部ならびに純資産の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2025 年 3 月	(B) 今期予算 2026 年 3 月	(C) 今期見込 2026 年 3 月	予算対比 〔(C) － (B)〕	実績対比 〔(C) － (A)〕
(負 債 の 部)					
預 金 積 金	38,458	38,958	38,464	▲ 494	6
借 用 金	0	0	0	0	0
そ の 他 負 債	132	135	135	0	3
各 種 引 当 金	103	113	105	▲ 8	2
繰 延 税 金 負 債	0	0	0	0	0
債 務 保 証	56	56	61	5	5
負債の部合計	38,751	39,262	38,765	▲ 497	14
(純 資 産 の 部)					
出 資 金	383	383	385	2	2
利 益 剰 余 金	2,093	2,128	2,149	21	56
利 益 準 備 金	391	383	383	0	▲ 8
そ の 他 利 益 剰 余 金	1,701	1,745	1,766	21	65
当 期 未 処 分 剰 余 金	186	201	222	21	36
その他有価証券評価差額金	▲ 436	▲ 500	▲ 222	278	214
純資産の部合計	2,041	2,011	2,312	301	271
負債及び純資産の部合計	40,792	41,273	41,077	▲ 196	285

損益の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2025年3月	(B) 今期予算 2026年3月	(C) 今期見込 2026年3月	予算対比 [(C) - (B)]	実績対比 [(C) - (A)]
経 常 収 益	884	695	786	91	▲ 98
資 金 運 用 収 益	633	661	751	90	118
貸 出 金 利 息	461	483	476	▲ 7	15
預 け 金 利 息	33	69	71	2	38
有価証券利息配当金	130	104	198	94	68
その他の受入利息	7	5	4	▲ 1	▲ 3
役 務 取 引 等 収 益	31	31	31	0	0
そ の 他 業 務 収 益	3	3	3	0	0
国 債 等 債 券 売 却 益	0	0	0	0	0
そ の 他 の 業 務 収 益	3	3	3	0	0
そ の 他 経 常 収 益	215	0	0	0	▲ 215
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	0	0	0	0	0
株 式 等 売 却 益	215	0	0	0	▲ 215
そ の 他 の 経 常 収 益	0	0	0	0	0
経 常 費 用	832	627	668	41	▲ 164
資 金 調 達 費 用	24	90	86	▲ 4	62
預 積 金 利 息	24	90	86	▲ 4	62
借 用 金 利 息	0	0	0	0	0
そ の 他 の 支 払 利 息	0	0	0	0	0
役 務 取 引 等 費 用	21	21	21	0	0
そ の 他 業 務 費 用	27	0	1	1	▲ 26
国 債 等 債 券 売 却 損	24	0	0	0	▲ 24
国 債 等 債 券 償 還 損	3	0	1	1	▲ 2
そ の 他 の 業 務 費 用	0	0	0	0	0
経 費	492	504	502	▲ 2	10
人 件 費	285	285	281	▲ 4	▲ 4
物 件 費	201	214	215	1	14
税 金	5	5	5	0	0
そ の 他 経 常 費 用	265	12	56	44	▲ 209
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	71	12	56	44	▲ 15
貸 出 金 償 却	0	0	0	0	0
株 式 等 売 却 損	0	0	0	0	0
そ の 他 の 経 常 費 用	193	0	0	0	▲ 193
経 常 利 益	51	68	118	50	67
特 別 利 益	0	0	0	0	0
固 定 資 産 処 分 益	0	0	0	0	0
そ の 他 の 特 別 利 益	0	0	0	0	0
特 別 損 失	0	0	0	0	0
固 定 資 産 処 分 損	0	0	0	0	0
そ の 他 の 特 別 損 失	0	0	0	0	0
税 引 前 当 期 純 利 益	51	68	118	50	67
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	12	20	48	28	36
法 人 税 等 調 整 額	1	0	0	0	▲ 1
当 期 純 利 益	37	48	69	21	32
前 期 繰 越 金	148	153	153	0	5
当 期 未 処 分 剰 余 金	186	201	222	21	36

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額の状況

(金額単位：千円)

区 分	年 度 別	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D) = (B) + (C)	保全率 (D) / (A)	貸倒引当金引当率 (C) / (A) - (B)
破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	2023年9月	87,549	33,373	54,176	87,549	100.00 %	100.00 %
	2024年9月	330,133	90,469	239,664	330,133	100.00 %	100.00 %
	2025年9月	73,533	66,579	6,954	73,533	100.00 %	100.00 %
危 険 債 権	2023年9月	709,670	212,937	489,669	702,606	99.00 %	98.58 %
	2024年9月	689,876	235,547	424,469	660,016	95.67 %	93.43 %
	2025年9月	793,327	297,956	464,525	762,481	96.11 %	93.77 %
要 管 理 債 権	2023年9月	275,738	63,232	26,591	89,823	32.58 %	12.51 %
	2024年9月	262,896	58,167	57,043	115,210	43.82 %	27.86 %
	2025年9月	248,307	54,610	55,195	109,805	44.22 %	28.50 %
不 良 債 権 計	2023年9月	1,072,957	309,542	570,436	879,978	82.01 %	74.72 %
	2024年9月	1,282,906	384,183	721,176	1,105,359	86.16 %	80.24 %
	2025年9月	1,115,169	419,145	526,674	945,819	84.81 %	75.67 %
正 常 債 権	2023年9月	19,751,677					
	2024年9月	19,930,917					
	2025年9月	19,457,399					
合 計	2023年9月	20,824,635					
	2024年9月	21,213,823					
	2025年9月	20,572,568					

不良債権比率

2023年9月	5.15 %
2024年9月	6.05 %
2025年9月	5.42 %

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
5. 「担保・保証等(B)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
6. 「貸倒引当金(C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

有価証券の時価等情報

1. 満期保有目的

(金額単位：百万円)

項 目	2024年9月			2025年9月		
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	債 券	195	196	0	-	-
	国 債	195	196	0	-	-
	地方債	-	-	-	-	-
	社 債	-	-	-	-	-
	その他	200	207	7	100	100
	小 計	395	403	7	100	100
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	債 券	401	387	▲ 13	597	516
	国 債	401	387	▲ 13	597	516
	地方債	-	-	-	-	-
	社 債	-	-	-	-	-
	その他	600	513	▲ 86	700	572
	小 計	1,001	900	▲ 100	1,297	1,088
合 計	1,397	1,303	▲ 93	1,397	1,189	▲ 208

3. 時価評価されていない有価証券

(金額単位：百万円)

項 目	2024年9月 貸借対照表計上額	2025年9月 貸借対照表計上額
そ の 他 有 価 証 券	15	30
非 上 場 株 式	15	30
非 上 場 外 国 証 券	-	-

2. その他有価証券

(金額単位：百万円)

項 目	2024年9月			2025年9月		
	貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	464	548	83	812	1,057
	債 券	-	-	-	-	-
	国 債	-	-	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-
	社 債	-	-	-	-	-
	その他	503	524	20	664	753
	小 計	968	1,072	104	1,477	1,810
	小 計	968	1,072	104	1,477	1,810
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	235	221	▲ 14	49	48
	債 券	2,592	2,264	▲ 327	2,492	1,954
	国 債	1,792	1,500	▲ 291	1,792	1,311
	地方債	-	-	-	-	-
	社 債	800	764	▲ 35	700	642
	その他	1,052	973	▲ 79	399	382
	小 計	3,881	3,459	▲ 421	2,941	2,385
	小 計	3,881	3,459	▲ 421	2,941	2,385
合 計	4,849	4,531	▲ 317	4,418	4,195	▲ 222

地域に貢献するゆきしんの経営姿勢

当組合は、2023年9月に定款変更を行い、営業エリアを小千谷市、十日町市の旧松代町、松之山町、及び長野県栄村へ拡張しました。「ゆきぐに」地域全体で金融サービスを平等に提供するためです。

「ゆきしん」は、地元の中小零細事業者や住民が組合員となってお互い助け合い、発展していくという相互扶助の精神に基づき運営されている協同組合組織金融機関です。

中小零細事業者や住民一人一人の顔が見えるさめの細かな取引を基本としており、常に組合員の事業の発展や生活の質の向上に貢献する為、組合員の利益を第一に考えることを基本としております。

また、地域社会の一員として、当組合の経営資源を活用し、地域社会の生活の質や文化の向上に積極的に取り組んでおります。

これからも、組合員の豊かな暮らしづくりに奉仕するために、円滑な資金供給と金融サービスを提供していくことはもちろんのこと、文化的・社会的貢献活動を通じ、組合員の暮らしにうおいを与え、地元振興に積極的に資する、地元の金融機関として在り続けます。

融資を通じた地域貢献

地元中小企業及び個人のお客様をはじめとする地域への円滑な資金供給を重要な使命と捉え、新商品の提供などを通じて、地域のお客様の資金のニーズにお応えします。

貸出金業種別残高・構成比

(単位：百万円、%)

業 種 別	2024年9月		2025年9月	
	金 額	構成比	金 額	構成比
製 造 業	1,921	9.1	1,505	7.3
建 設 業	1,500	7.1	1,317	6.4
卸 売 ・ 小 売 業	2,410	11.4	2,276	11.0
各 種 サ ー ビ ス 業	5,036	23.8	5,514	27.1
そ の 他 の サ ー ビ ス	1,688	8.0	1,794	8.8
小 計	12,556	59.4	12,406	60.6
地 方 公 共 団 体	3,100	14.7	2,729	13.3
個 人（住 宅・消 費・納 税 資 金 等）	5,473	25.9	5,352	26.1
合 計	21,130	100.0	20,489	100.0

※金額は単位未満切り捨て、構成比は単位未満四捨五入で表示しております。

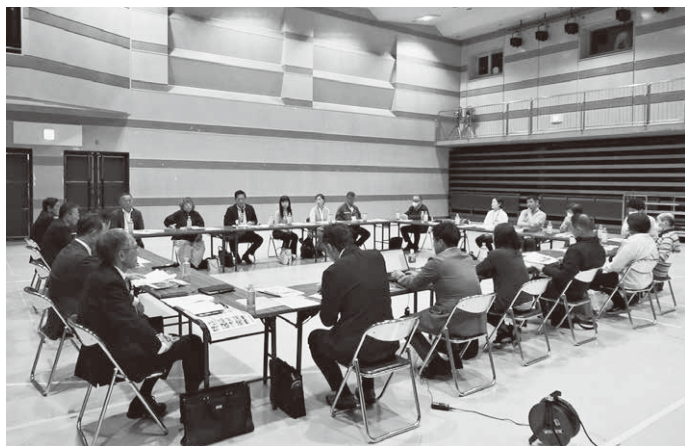
中小企業等金融円滑化に関する取組み

私どもの「融資」は、不安を解消し、安心を提供するものであると考えております。『融資は“安心”の提供であり、不安を解消するための手段である。』と言い切ります。貸したところから“真”の付き合いが始まり、返し終わるまで、とことん面倒を見る「永続伴走型」の支援を信条としております。

小さいものや力の弱い者の味方として力を貸す。世のため人のための信用組合として「保証づけ」や「過剰融資」により負担を強いられている企業を支援してまいります。

金融機関との付き合い方が優先する時代ではなく、本業に関するアドバイスなど、しっかり事業者のための支援をしてくれる「金融機関」を選ぶ時代です。

私どもは「選ばれる金融機関」になるために、キャッシュフローを導き出して、事業者が本業に傾注出来るご支援を徹底してまいります。



総代地区会議（石打地区）



理事退任式

顧客の組織化と活動実績

信栄会

当組合では、支店ごとに取引先の組合員の皆様から「信栄会」という後援会を組織していただいております。

主な行事として「定期総会」「ふれあいの集い」「親睦旅行」「ゴルフコンペ」等、年間通じて様々なイベントや活動を企画していただき、会員相互の交流や地域活性化のためご尽力いただいております。



石打信栄会 ふれあいの集い（2025年8月1日）



五日町信栄会 ふれあいの集い（2025年10月5日）



本店信栄会 親睦旅行「箱根湯本、小田原市内」
（2025年6月8日～9日）



津南信栄会ふれあいBBQ（2025年8月2日）



五信栄会合同ゴルフコンペ「十日町カントリークラブ」
（2025年9月6日）



小出郷信栄会 納涼祭・マレットゴルフ（2025年8月1日）



2025年度上半期「外部機関との連携」「文化的・社会的貢献・地域貢献」に関する活動

4/ 2(水)	「ハイウェイ大使委嘱式」(万代シルバーホテル) 職員2名出席
4/22(月)	「地域安全見守り隊」 営業車総点検
5/13(火)	「総代地区会議」(津南地区) 会場「津南町商工会」
5/13(火)	「総代地区会議」(石打地区) 会場「湯沢公民館」
5/13(火)	「総代地区会議」(本店地区) 会場「塩沢商工会」
5/15(木)	「総代地区会議」(五日町地区) 会場「大巻地区開発センター」
5/15(木)	「総代地区会議」(小出郷地区) 会場「小出ボランティアセンター」
6/ 3(火)	「全店ボランティア清掃」6月～9月実施
6/ 8(日)	「第16回・南魚沼グルメマラソン」 (ボランティア9名)
6/24(火)	「通常総代会」(南魚沼市民会館 多目的ホール) 「ゆきぐにの未来基金報告会」 「理事退任式」(ほてる木の芽坂)
7/ 4(金)	「地域同期会・第4回」(3地区同時開催) *「木の芽坂」「魚新」「雪国」 (3会場オンライン中継)
7/10(木)～7/11(金)	SHIFT 熱い金融マン協会向け実践型研修(5名) 会場：本店
7/21(月)	「緊急連絡網」「防災訓練」「救急法講習会」
7/29(火)～8/ 5(火)	「海外派遣研修事業」 参加：ゆきしん職員代表「戸田康晴」
8/ 4(月)～8/ 6(水)	貸出FS実践型研修(7名) 会場：本店
8/27(水)～8/29(金)	京都産業大学インターンシップ(3名) 会場：本店
9/ 2(火)	地域防犯訓練(石打支店・小出郷支店)
9/ 8(月)～9/ 9(火)	新潟青陵大学コミュニティビジネス実習



地域安全見守り隊 (営業車総点検)



総代地区会議 (津南地区)



通常総代会



海外派遣研修事業



京都産業大学インターンシップ

地域を応援する取り組み

軽トラ市

つむぎ通りの「軽トラ市」は2010年から始め15年目を迎えており、毎回大勢の人で賑わいます。昨年よりゆきしんの有志による「ゆきしん部」の活動により出店しております。

職員の趣味で製作している小物販売や小さなお子様楽しんでいただけるように、輪投げや水ヨーヨー釣りなどで盛り上げています。



南魚沼グルメマラソンボランティア

6月8日(日)、約4,000人のランナーが参加するマラソン大会です。ゆきしん職員と信組ゆきぐに奨学生がボランティアに参加し、選手の荷物クロークが主な仕事でした。当日は選手として参加する職員もあり、心地よい汗をかきました。

顧客保護に関する取り組み

三位一体「地域防災訓練」「地域防犯訓練」

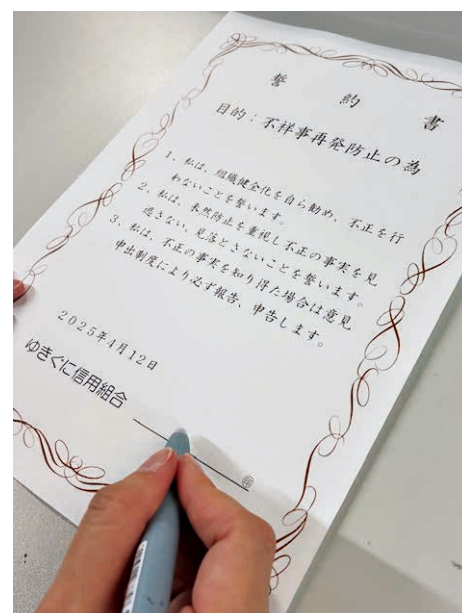
7月21日「地域防災訓練」実施。消防署の協力を得て、地域住民の皆様と火災の初期消火訓練、心肺蘇生方法を学びました。9月2日には「地域防犯訓練」実施。窓口に強盗が来たら…日頃の防犯体制を確認し、有事の際の対応を学びました。また特殊詐欺の防止訓練は、お客様の大切なお金を守るために様々な事例で訓練しています。



事件撲滅の日

4月12日は「事件撲滅の日」として職員が自ら事件を起こさない事、また不正を見つけたら必ず報告することなどを誓い、「誓約書」を全役職員が提出します。

また、職員の不正防止のため、全組合員に対して預金調査をお願いしております。



文化的、社会貢献に関する取組み

第7期 ゆきしん経営塾

これまでお客様からご要望の多かった「経営塾」を8月25日に第7期として再開講いたしました。全店で50人、ゆきしん経営塾が復活しました。参加した塾生からは「経営者に求められるセンスについて分かりやすく説明してもらった」「グループワークでそれぞれが考え、意見交換できたことが有意義な時間だった」等の感想をいただきました。2026年5月の閉講まで、共に学び成長していくことが楽しみです。



ボランティア清掃

6月～9月までの3日の早朝に店舗周辺のゴミ拾いを行っています。信組ゆきぐに奨学生も参加してくれています。自分たちの働く店舗周辺の環境整備もゆきしん職員の業務の1つです。



外部機関との連携

新潟東倫理法人会 理事長講演会

5月15日(木)、新潟東倫理法人会の早朝セミナーにお招きいただきました。約30名の会員の皆様にゆきしんの取組みをお伝えする貴重な時間でした。参加者から、「ぜひ、ゆきしんを新潟市内に出店してほしい」と熱い要望もいただきました。



京都産業大学理事長講演会

5月19日(月)、京都産業大学にて理事長講演会を実施しました。授業の中でゆきしんの取組みをご紹介させていただきました。また、就職活動をしている学生の悩みを聞くなど、とても貴重な時間を過ごしました。



ゆきしん版実践型研修

今年度初の取組として7月「SHIFT 熱い金融マン協会向け実践型研修」、8月「貸出FS実践型研修」、9月「ゆきしん実践型研修」の3回を他信用組合の職員の皆様を対象に実施しました。ゆきしんの取組みをお伝えすると同時に、私たちゆきしん職員も学びの多い時間を過ごすことができました。



京都産業大学インターンシップ受入れ

今年は3名の学生がゆきしんで「働くとは?」「地域貢献とは?」期待と不安を抱きながら参加してくれました。ゆきしのインターンシップは、実践型でありお客様とも直接触れ合えることが魅力です。2泊3日でゆきしの職員のように様々なことを吸収しました！受け入れていただいた企業の皆様に感謝申し上げます。



新潟青陵大学コミュニティビジネス実習受入れ

「ゆきしん」と「新潟青陵大学」とは3年前から交流があり、9月8日(月)・9日(火)の2日間「新潟青陵大学」の学生22名が、コミュニティビジネス実習としてゆきぐに信用組合を訪問。職員と一緒に事業先訪問を行いました。



思い出作りツアー・地元企業見学ツアー

ゆきぐにの未来基金の奨学生を対象とした「思い出作りツアー」と「地元企業見学ツアー」には“夏休みに楽しい思い出を作してほしい”“地元企業を知り職業選択の視野を広げてほしい”といった願いが込められています。

実際に参加した方からは「地域の魅力を再発見できた」「企業訪問では非常に充実した時間を送れた」などの声をいただきました。



2025 DISCLOSURE

The first half of the year

2025年度上半期 業績のご報告

〈改装前〉



幸せのYuki-Shin

ゆきぐに信用組合

ホームページ <https://www.yukiguni.shinkumi.jp/>
メールアドレス shinkumi@pluto.plala.or.jp

公式HP



公式LINE
アカウント



本部
しんくみセンター

〒949-6408 新潟県南魚沼市塩沢1221番地4

TEL (025) 782-1201(代)
FAX (025) 782-4063

本店

〒949-6408 新潟県南魚沼市塩沢1198

TEL (025) 782-1151(代)

石打支店

〒949-6371 新潟県南魚沼市関1124番地1

TEL (025) 783-2962(代)

五日町支店

〒949-7101 新潟県南魚沼市五日町387番地1

TEL (025) 776-2691(代)

津南支店

〒949-8201 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊543番地3

TEL (025) 765-3125(代)

小出郷支店

〒946-0076 新潟県魚沼市井口新田547番地15

TEL (025) 792-7766(代)